

# 外国人観光客に対応



## 英語ガイド育成事業スタート

### 新宮中心に30人受講

今後増加が見込まれる熊野地域への外国人観光客に対応できる人材を育成しようと新宮市は13日から、明治大学協力のもと「英語観光ガイド育成事業」をスタートさせた。受講生30人が来年1月23日までの計15回、さまざまな講師陣から外国人観光客のもてなし方などを学んでいく。

開講式であいさつする佐藤春陽市長は13日、新宮地域職業訓練センター

事業では英語話教室主宰のティム・ペットマーさんが「英語によ

る知識の習得」(計7回)、NPO法人Mi・Kumanoが「熊野の歴史と文化など」(計3回)をそれぞれテーマに講義する予定。受講生は21〜62歳の

男性16人、女性14人。新宮市を中心に遠くは御坊市、尾鷲市などからも受講している。初日の開講式で佐藤春陽市長は「皆さまがさまざまな面で活躍し、熊野の発展に寄与してくれることを期待しています」。明治大学が「熊野の歴史と文学法學部の林雅彦教授が「すばらしい成果をあげられることを期待

しています」などとあいさつした。

式後、さっそく第一回目の講義があり、Mi・Kumanoの桶本晴美代表が「ガイドの心得」をテーマに話した。午後からは一般公開講座として林教授が「熊野の歴史と文化」をテーマに講義した。

H21年6月14日  
南紀州新聞